

Prognostic impact of Pleural Lavage Cytology: Review of 3594 Cases に関する研究

1. 研究の対象

1993年1月から2015年12月にかけて、当院にて手術を行った肺がん患者さんの中で、手術中に胸を洗った水を顕微鏡で確認した方3594人と胸腔内播種によって試験開胸等になった患者さん84名を対象としております。

2. 研究目的・方法

肺がんに対して手術をうけた方々のなかで、手術中に胸を洗った水を顕微鏡で確認した方々のデータを用いて、長期的な成績、手術後の経過の特徴を明らかにすることを目的としています。

肺がんの手術を行った方で、手術中に胸を洗った水の中にがん細胞がいる患者さんの予後が悪いことをはっきりとさせ、再発や予後との関連を明らかにすることで今後の手術適応や術後の抗がん剤の適応の判断に大きく貢献すると考えられます。

研究実施期間：1年6ヶ月間

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、喫煙歴、手術所見、画像所見、検査所見、治療経過、予後など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 呼吸器外科 勝又信哉

TEL 04-7133-1111

研究責任者：

国立がん研究センター東病院 呼吸器外科 坪井正博